

国際観光学科 1年 前期 総合科目

1. 世界と日本
2. 歴史と文化
3. 初年次セミナー
4. 実践英語 I
5. 英語コミュニケーション I
6. ビジネス・コミュニケーション演習
7. 日本語表現技法

国際観光学科

科目名: 世界と日本			担当教員 氏名: 文 智暎			
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	1年次	前期	総合科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
ほんの百数十年前までの、平均的日本人にとっての「世界」は歩いて日帰りできるせいぜい20km圏であった。今日日帰り圏は航空機を使えば1,000kmを優に超えている。激変したのは交通機関だけではなく、ヒト、モノ、カネ、技術、情報がボーダーレスになり、「世界」は限りなく広がったように見える。しかし、人間は所詮、時代の子であり、環境の子である。日本人の世界観は、自分たちの生きてきた時代や環境に大きく左右され、ある意味閉じ込められている中で「世界」である。今こそ、時代や環境の制約を乗り越えて「世界を知る力」、「日本を知る力」を学ぶ。						世界を知る、日本を知る
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 6. 8. 10		
A 知識・理解力	世界と日本を、相関的かつ、体系的に理解することができる。					
B 専門的技術	「世界を知る力」、「日本を知る力」を身につけ、内外で起こる事象を自らで判断できる。					
C 論理的思考力	情報や、知識を複眼的、倫理的に分析し、表現できる。					
D 問題解決力	問題を同定し、解決に必要な情報の収集、分析、整理ができる。					
E 自己管理能力	広い視野を身につけ、自らを律して行動できる。					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 20 %	レポート: 30 %	発表: 20 %	実技試験: %	その他: 30 %		
特記事項: 上記の「その他」には授業中の態度、ワークシートの取り組みが含まれる。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 適宜小テストを行う。最終試験は別に定めた日時に行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜小テストを行い、採点し返却する。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①ガイダンス			【予習】「世界と日本」について考える。 【復習】プリントを読む	【予習30分】 【復習30分】		
②世界の言語と日本語			【予習】プリント(世界の言語と日本語)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】		
③言語行動から見た日本、日本人			【予習】プリント(言語行動)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】		
④あいさつ—反復確認型と一回完結型			【予習】プリント(あいさつ)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】		
⑤コミュニケーション・スタイルと異文化摩擦			【予習】プリント(コミュニケーション・スタイル)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】		
⑥断りの方略と沈黙の文化			【予習】プリント(断り)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】		
⑦敬語とスタイル・シフト			【予習】プリント(スタイル・シフト)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】		
⑧絶対敬語と相対敬語			【予習】プリント(敬語)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】		
⑨授受表現から見る日本文化			【予習】プリント(授受表現)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】		
⑩ほめ行動の日韓比較			【予習】プリント(ほめ)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】		
⑪領域意識			【予習】プリント(著とチョッカラク)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】		
⑫著とチョッカラク—誤解の回避に向けて			【予習】プリント(領域意識)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】		
⑬私が見る「世界と日本」1			【予習】プリント(世界と日本)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】		
⑭私が見る「世界と日本」2			【予習】プリント(世界と日本)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】		
⑮総まとめ			【予習】世界と日本全体の復習をする。	【予習60分】		
使用テキスト: ・特定のテキストを指定しない。 ・毎回プリントを配布する。			その他参考文献など: 『著とチョッカラク-ことはと文化の日韓比較』2004年 柴哲・井出里咲子著 大修館書店 『菊と刀』2005年 ルースベネディクト 講談社			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ・授業に積極的に参加してください。						

国際観光学科

科目名: 歴史と文化			担当教員 氏名: 文 智暎		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 前期	総合科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
観光を学ぶためには必須となる国内外の歴史、文化について学ぶ。歴史においては、各時代に起こった主要な事象を学ぶのみならず歴史とは何かについても考える。また文化については、ユーラシア、極東アジア、アフリカ、アメリカなどにおける、われわれとは異なる世界観を学び、歴史、地理、文化の複合的な観点で人々の政治、日々の食事、生活用品、学校教育、生活習慣、心象風景などを取り上げ、生活実感を出来る限り理解できるようにする。					文化、教育、言語、生活
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 8. 9. 10	
A 知識・理解力	内外の歴史と文化を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。				
B 専門的技術	内外の歴史や文化の学びから、国家や地域の特徴等を理解できる力をつける。				
C 論理的思考力	情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。				
E 自己管理能力	地域社会に対して、自らを律して行動できる。				
H コミュニケーション力	特に外国言語を通して、他者の理解を深めることができる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 20 %	レポート: 30 %	発表: 30 %	実技試験: %	その他: 20 %	
特記事項: ・上記「その他」においては授業中の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。 ・本科目ではアクティブラーニングの一環としてグループワーク、発表を行う。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 適宜小テストを行う。最終試験は別に定めた日時に実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜小テストを行い、採点し返却する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①ガイダンス			【予習】「歴史と文化」について考える。 【復習】プリントを読む	【予習30分】 【復習30分】	
②世界を見る目を育てる1			【予習】プリント(中国)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】	
③世界を見る目を育てる2			【予習】プリント(台湾)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】	
④中国の歴史と文化			【予習】プリント(韓国)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】	
⑤アメリカの歴史と文化			【予習】プリント(アメリカ)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】	
⑥オーストラリアの歴史と文化			【予習】プリント(オーストラリア)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】	
⑦アジア諸国の歴史と文化1			【予習】プリント(アジア)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】	
⑧アジア諸国の歴史と文化2			【予習】プリント(アジア)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】	
⑨アジア諸国の歴史と文化3			【予習】プリント(アジア)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】	
⑩ヨーロッパ諸国の歴史と文化1			【予習】プリント(ヨーロッパ)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】	
⑪ヨーロッパ諸国の歴史と文化2			【予習】プリント(ヨーロッパ)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】	
⑫ヨーロッパ諸国の歴史と文化3			【予習】プリント(ヨーロッパ)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】	
⑬言語と文化1			【予習】プリント(言語と文化)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】	
⑭言語と文化2			【予習】プリント(言語と文化)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】	
⑮総まとめ			【予習】世界と日本全体の復習をする。	【予習60分】	
使用テキスト: 特定のテキストを指定せず、毎回プリントを配布する。			その他参考文献など: 『FACTFULNESS』ハンス・ロスリング著(日経BP社)、『ファクト図鑑』佐藤優監修(宝島社)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ・グループワークに積極的に参加すること。					

国際観光学科

科目名: 初年次セミナー				担当教員 氏名: 米田 晶、鷹西 恒					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	前期	総合科目	講義	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 両教員の豊富な社会経験を活かし、実社会に適用する技能、考え方について教授する。									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
初年次前期において、国際観光学科卒業後に想定されるキャリア、レポートの作成方法とアカデミックルール、図書館など短大内施設、学園内システムの活用、短大でのマナー、社会常識、エチケットなどを学ぶ。また海外インターン実習を意識した雇用訓練(Employability)も行う						社会人、Employability			
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1、2、4						
A 知識・理解力			短大内施設、学園内システムの活用、短大でのマナー、社会常識、エチケットなどの知識を理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。						
E 自己管理能力			短大内施設、学園内システムの活用、短大でのマナー、社会常識、エチケットなどを理解し、自ら行動することができる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	30 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	70 %
特記事項:									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: テストはない。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: その都度、指導教員と相談する。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①ガイダンス(ホームルーム)				配布資料の復習	60分				
②ノートの取り方				配布資料の予復習	60分				
③TOEIC IPテスト				配布資料の予復習	60分				
④情報収集の方法				配布資料の予復習	60分				
⑤チーム・ビルディング(ホームルーム)				配布資料の予復習	60分				
⑥MS Office Wordの使い方				配布資料の予復習	60分				
⑦MS Office PowerPointの使い方				配布資料の予復習	60分				
⑧MS Office PowerPointの使い方(プレゼンテーション:作成)				配布資料の予復習	60分				
⑨MS Office PowerPointの使い方(プレゼンテーション:発表)				配布資料の予復習	60分				
⑩研究手法(PBL)の説明				配布資料の予復習	60分				
⑪Preziの使い方				配布資料の予復習	60分				
⑫PROGテスト				配布資料の予復習	60分				
⑬レポートの作成方法				配布資料の予復習	60分				
⑭課題の見つけ方				配布資料の予復習	60分				
⑮レポートの作成:実践				配布資料の予復習	60分				
使用テキスト: なし				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): これからの社会で、自分の頭で考え、課題を整理し、解決まで持っていける力を身に着けることは重要です。このセミナーはその入門編です。									

国際観光学科

科目名： 実践英語 I		担当教員 氏名： 毛利 有一				
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	1年次 前期	総合科目	演習	必修		
実務経験を用いてどのような授業を行っているか： ホテルマンとしての経験を活かして、ホスピタリティを重視した実践的な英語について教授する。						
授業科目の学習教育目標の概要： 本学の目標は、インバウンドによる地域創生に資する人材教育であり、英語教育は欠かせない科目群である。実践英語では、読む、聞く、話す、書くの4技能の基本を中心に、それぞれの学生が中学校以降の英語学習の中で積み残した部分を補い、より正確なクオリティの高い英語力を身につけることを目標とする。さらに卒業時TOEIC750～850点を目標とする試験対策も随時取り入れることとする。					キーワード TOEIC、リスニング、リーディング、映画	
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 10		
A 知識・理解力		英語を体系的に理解する。				
B 専門的技術		正確な英語力習得を目指し、自己実現に技術が活用できる。				
C 論理的思考力		複眼的、論理的に英語の4技能を発揮できる。				
H コミュニケーション力		クオリティの高い英語力で他者との理解を深めるコミュニケーションができる。				
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 70 %	レポート： %	発表： %	実技試験： 20 %	その他： 10 %		
特記事項：						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 適宜小テストを行う。最終試験は別に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： 適宜小テストを実施し、採点し返却する。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分		
②TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分		
③TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分		
④TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分		
⑤TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分		
⑥TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分		
⑦TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分		
⑧中間評価と振り返り			【予習】これまでの範囲の復習	【予習】30分 【復習】60分		
⑨TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分		
⑨TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分		
⑩TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分		
⑪TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分		
⑫TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分		
⑬TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分		
⑮これまでの学習の総合的な振り返り			【予習】これまでの範囲の復習	【予習】30分 【復習】60分		
使用テキスト： TOEIC(R) L&Rテスト 基本例文990選 (TTT速習シリーズ) ISBN 9784757436541			その他参考文献など： Netflix(推奨)、Amazon Primeなど、動画配信サイトへの登録			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 授業は、前半が英文法、TOEIC対策、後半が動画を使用したアクティビティとなります。最終的な成績は、授業への積極性、試験結果等で総合的に評価します。まずは基礎的な英文法をマスターし、TOEIC英語およびナチュラルスピードの英語に触れる「習慣」を身につけていきましょう。						

国際観光学科

科目名: 英語コミュニケーション I			担当教員 氏名: Victor Raquid Vibal, Travers William Henry			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
3	1年次	前期	総合科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのよ うな授業を行っているか: 留学や業務経験(観光産業)の経験を活かして、英語コミュニケーションについて教授する。						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
国際化、グローバル化が進み、英語を使う機会は日常生活のみならず、日本人以外の 上司、同僚、部下が各企業に増えてきており、様々な職場で求められている。このよ うな社会的ニーズを踏まえてこの授業ではできるだけ英語を話し、英語で考え、英語で表 現することに慣れ、在学中に実践的レベルに達することを目標としている。授業はすべ て英語で行われる。特にこの授業は後期からスタートする海外実習を見据えた、海外 生活や海外での業務遂行のための実践的な授業内容とする。						実用英語、コミュニケーションスキル
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)			
A 知識・理解力			英語の知識を理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
H コミュニケーション力			言語や身体を用いて自己・他者に理解を深めコミュニケーションができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 25 %	レポート: 25 %	発表: 40 %	実技試験: %	その他: 10 %		
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: プレゼンテーションや最終試験を行う。授業の進捗状況は、クラスの進み具合を踏まえ、フレキシブルに対応する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: プレゼンテーションのフィードバックは、個別に指導する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な 時間(分)	
① <Passport 1> Introduction & Where are you from?				pgs4-7 & Icebreaker activities	240	
② <Passport 1> Unit 1: Would you like Chicken or Fish?				On board an airplane	240	
③ <Passport 1> Unit 2: Can I have your passport, please?				Going through immigration	240	
④ <Passport 1> Unit 3: My mother has her own business				Talking about our families	240	
⑤ <Passport 1> Unit 4: Can I check my email?				Asking for permission to do things	240	
⑥ <Passport 1> Unit 5: Are you ready to order?				Ordering in a restaurant	240	
⑦ <Passport 1> <Passport 1> Destination: the UK				Learning about the UK	240	
⑧ <Passport 1> Review				Review language from units 1-5	240	
⑨ <Passport 1> Unit 6: Where's the station?				Asking for and giving directions	240	
⑩ <Passport 1> Unit 7: Can I use my card in this ATM?				Using a bureau de change	240	
⑪ <Passport 1> Unit 8: Do you have a non-smoking room?				Checking-in at a hotel	240	
⑫ <Passport 1> Unit 9: I have a stomachache				Going to the doctor	240	
⑬ <Passport 1> Unit 10: I'm from Japan				Talking about our home countries	240	
⑭ <Passport 1> Destination: New Zealand				Learning about New Zealand	240	

⑮ <Passport 1> Review	Review language from units 6-10	240
⑯ <Passport 1> Group Role Play	Groups perform role plays from units 1-10	240
⑰ <Passport 1> Unit 11: What time does it start?	Organising trips at a visitor information centre	240
⑱ <Passport 1> Unit 12: Have you been to the islands?	Talking about experiences	240
⑲ <Passport 1> Unit 13: I really like rugby	Talking about likes and dislikes	240
⑳ <Passport 1> Unit 14: Where should we meet?	Making arrangements to meet	240
㉑ <Passport 1> Unit 15: How about 400 baht for two?	Bartering with shop staff	240
㉒ <Passport 1> Destination: Thailand	Learning about Thailand	240
㉓ <Passport 1> Unit 16: I'd like to send this to Japan, please	Sending mail from a post office	240
㉔ <Passport 1> Unit 17: We're staying five more days	Ways to describe attractions	240
㉕ <Passport 1> Unit 18: I lost my bag!	Reporting losses to the constabulary	240
㉖ <Passport 1> Unit 19: Which bus goes to the airport?	Transportation and numbers	240
㉗ <Passport 1> Unit 20: What did you like best?	Words to describe places	240
㉘ <Passport 1> Destination: Ireland	Learning about Ireland	240
㉙ <Passport 1> Group Presentation	Students perform presentations about different countries	240
㉚ <Passport 1> Group Presentation	Students perform presentations about different countries	240
㉛ <Write Away Right Away> Getting Started -orientation-	Icebreaker	240
㉜ <Write Away Right Away> Getting to know each other	Gaining information about classmates and writing about them	240
㉝ <Write Away Right Away> Writing about a personal experience	Sharing past experiences	240
㉞ <Write Away Right Away> Review	Review previous writing skills	240
㉟ <Write Away Right Away> Class Cookbook	How to prepare a local dish; firefly squid, black ramen, etc	240
㊱ <Write Away Right Away> Comparing and Contrasting	Comparing 2 cities in Japan	240
㊲ <Write Away Right Away> Writing a Narrative	Story telling	240
㊳ <Write Away Right Away> Writing Emails	Writing an email to a penfriend	240
㊴ <Write Away Right Away> Review	Review previous writing skills	240
㊵ <Write Away Right Away> Creative Writing Lesson	Timed Creative Writing Activity	240
㊶ <Write Away Right Away> Writing an Invitation	Inviting people to events	240
㊷ <Write Away Right Away> Class Restaurant Guide	Writing about local restaurants/cafes	240
㊸ <Write Away Right Away> Writing for Travel	Travel writing	240
㊹ <Write Away Right Away> Advantages & Disadvantages	The good and bad points about life in Toyama	240
㊺ <Write Away Right Away> Review	Review previous writing skills	240
使用テキスト: - Passport 1, A. Buckingham & L. Lansford, Oxford, ISBN 978-0-19-471816-5 - Write Away Right Away, David Martin, EFL Press (ISBNなし: ¥2650)		その他参考文献など:
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):		

国際観光学科

科目名: ビジネス・コミュニケーション演習			担当教員 氏名: 藤本 幸男		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 前期	総合科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 民間企業にて事務職・営業職・社員教育担当等従事した経験から実務現場や組織についてイメージし実践出来るよう、また行政機関でジョブサポーターに従事、企業が求める人材像や就業支援等伝えたいと思います。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
仕事上の感情や、思考、知識の意志伝達の手法を学ぶことにより、人間関係力、顧客との関係性、部下の育て方、会議の進行、ビジネスマナーなどの力やノウハウを身につける。「話の内容」、「使う言葉」、「身振り手振り」、「表情」、「話を促す」、「質問の仕方」、「相手の考えを読み取る」等を演習する。					自己・他者理解、自己肯定感、自律、組織、社会人基礎力、思考力・問題解決力、コミュニケーション法、アサーション、ビジネススキル、ビジネスマナー
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 7. 8. 10	
A 知識・理解力	ビジネス・コミュニケーションの知識を体系的に理解する。				
B 専門的技術	自己実現に技術が活用できる。				
C 論理的思考力	演習から得た情報や知識を論理的に表現できる。				
E 自己管理能力	自らを律して行動できる。				
H コミュニケーション力	言語や、体を用いて他者との理解を深めるコミュニケーションができる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 30 %	レポート: %	発表: 20 %	実技試験: %	その他: 50 %	
特記事項: アクティブ・ラーニング(グループディスカッション・発表、ロールプレイング、他)を学生主導のもと、実践的演習やゲームを体験。授業態度(積極的参加、チームワーク協力等)を評価します。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習、ディスカッション、ディベート、グループワーク、プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 小テスト実施(2回)、グループ発表					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 小テストは後日返却します。また必要あれば解説します。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①オリエンテーション、自己紹介・初対面の人とどう接する? / 第一印象の重要性			【復習】授業を振り返り自己理解を深める	【復習】30分	
②自己理解/エゴグラムで見る自分のコミュニケーション特性			【復習】授業を振り返り自己理解を深める	【復習】30分	
③他者理解/5つの考え方・捉え方・行動			【復習】授業を振り返り他者理解を深める	【復習】30分	
④組織とビジネススキル、「働く」とは、社会人基礎力とは			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】理解を深める	【予習】30分 【復習】30分	
⑤ビジネスマナー/マナーは「ホスピタリティ」 【小テスト】			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】理解を深める	【予習】50分 【復習】50分	
⑥コミュニケーションスキル(1) 非言語コミュニケーション理解/相手の考えを読み取る			【復習】授業を振り返り理解を深める	【復習】30分	
⑦コミュニケーションスキル(2) 傾聴力・質問力/コミュニケーションの秘訣			【復習】授業を振り返り理解を深める	【復習】30分	
⑧コミュニケーションスキル(3) アサーションとは			【復習】授業を振り返り理解を深める	【復習】30分	
⑨コミュニケーションスキル(4) アサーション/アサーティブな考え方			【復習】授業を振り返り理解を深める	【復習】30分	
⑩コミュニケーションスキル(5) アサーション/心に届く伝え方			【復習】授業を振り返り理解を深める	【復習】30分	
⑪ビジネス文書、ソーシャルメディアの活用とマナー、ビジネスに必要な知識 【小テスト】			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】理解を深める	【予習】50分 【復習】50分	
⑫ビジネスコミュニケーションスキル(1) 「報・連・相」の徹底/業務遂行上、最重要			【復習】授業を振り返り理解を深める	【復習】30分	
⑬ビジネスコミュニケーションスキル(2) クレームと苦情/ピンチをチャンスに変える			【復習】授業を振り返り理解を深める	【復習】30分	
⑭ビジネスコミュニケーションスキル(3) チームビルディング/目標と役割			【復習】授業を振り返り理解を深める	【復習】30分	
⑮モチベーション&コミュニケーション/自己実現への「誓い宣言」			【復習】授業を振り返り理解を深める	【復習】30分	
使用テキスト: 『社会人になるためのビジネスコミュニケーション&マナー』(株)インフォテック・サーブ、ビジネス教育実践学会監修/中村克彦編著 660円 ※必要に応じて資料を配布いたします。			その他参考文献など: 『アサーション入門 自分も相手も大切に自己表現法』 講談社現代新書、平木典子、ISBN978-4-06-288143-2		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 業務(実践)を行う上で必要なコミュニケーションスキルやビジネスマナーを学んでいただきます。社会人となる自覚をもって、授業及びグループワークは主体的かつ積極的に取り組んでください。何よりも平素からの姿勢が大切です。就活時には“企業が求める”、“企業に欲しいと思わせる”人材になっていただくことを切に願っています。一緒に頑張りましょう。					

国際観光学科

科目名：日本語表現技法				担当教員 氏名：宮城 信		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：		中高教員だった経験を活かして、教え方(伝え方)についての実践的な授業を実施する。				
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード	
日本語を表現することは、自己表現することである。文章や会話を通して自己の在りようが現れることから、適切に伝えるための日本語表現の基礎基本を学ぶとともに、他者との関係を豊かにする自己表現のための態度を養う。					表現、話し方・書き方、語彙、コミュニケーション、日本語のシステム	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 7	
A 知識・理解力			知識を体系的化し理解できる。			
B 専門的技術			日本語を使った自己実現に活用できる。			
E 自己管理能力			自らを律して表現活動ができる。			
H コミュニケーション力			言語や身体を用いて自己・他者の正しい理解を深めることができる。			
成績評価の方法・基準：以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 50 %		レポート： 20 %		発表： 15 %		実技試験： %
その他： 15 %						
特記事項： ・上記「その他」には、小テスト・授業中の話し合い活動への積極的な参加状況の評価が含まれる。 ・授業の課題として、3回程度のレポートを課す。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 <u>ディスカッション・ディベート</u> <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：適宜小課題を課す。最終試験は定められた日時に行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：課題に対してコメントを付す。課題・評価に関する質問は随時受け付ける。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①ガイダンス「日本語」で考える～伝わるとはどういうことか				【復習】授業内容の確認及び課題		【復習】120分
②コミュニケーションの方略を考える(1)「説明する」				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
③コミュニケーションの方略を考える(2)「謝罪する」				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
④コミュニケーションの方略を考える(3)「依頼する」				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
⑤課題研究(5/18)：レポート作成				【予習】事前に基礎知識を収集する。		【予習】120分
⑥日本語概説				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
⑦文章表現法(1)文章を書くときの発想と語彙				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
⑧文章表現法(2)表現の型・文章構成の型				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
⑨文章表現法(3)説明する文章の書き方				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
⑩文章表現法(4)主張する文章の書き方				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
⑪課題研究(6/29)：レポート作成				【予習】事前に基礎知識を収集する。		【予習】120分
⑫ディベート演習(1)ディベートの基礎・ミニミニディベート				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
⑬ディベート演習(2)論理的思考・批判的思考				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
⑭ディベート演習(3)論を組み立てる				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
⑮学修のまとめ				【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題		【予習】120分 【復習】120分
使用テキスト： ・特定のテキストは指定しない。(※毎時間プリント等を配布する。) ・必要に応じて資料を配付する。				その他参考文献など：なし。		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： ・毎時間話し合い活動を組み込む。積極的に参加すること。 ・課題には真剣に取り組み、提出期限を遵守すること。						